

3) 生コンクリート、アスファルトについて

(1) 生コンクリート、アスファルト単価の適用区分

- (ア) 生コンクリート、アスファルトの単価は、プラントがない離島には適用できない。
 (イ) [⑭県北・田平地区の離島]の生コンクリートの単価は大島以外には適用できない。
 (ウ) [⑫宇久島・小値賀島]のアスファルト合材の単価は、小値賀島以外には適用できない。
 (エ) [⑫宇久島・小値賀島]の生コンクリートの単価は、小値賀島のみ適用できる。宇久島については(2)(イ)参照。

生コンクリート及びアスファルト合材プラント有無一覧

地 区		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
		長崎	諫早	大瀬戸	島原	県北	東彼杵	松浦	高島
生コンクリート		○	○	○	○	○	○	○	×
アスファルト 合材	新材	○	○	○	○	○	○	○	×
	再生	○	○	○	○	○	○	○	×

地 区		⑨		⑩		⑪		⑫		⑬
		崎戸・大島	崎戸・大島	池島・松島	池島・松島	江ノ島・平島	江ノ島・平島	宇久島・小値賀島	宇久島・小値賀島	平戸
生コンクリート		×ただし本土と橋で連結	×ただし本土と橋で連結	×	×	×	×	○	○	○
アスファルト 合材	新材	×ただし本土と橋で連結	×ただし本土と橋で連結	×	×	×	×	×	○	×ただし本土と橋で連結
	再生	×ただし本土と橋で連結	×ただし本土と橋で連結	×	×	×	×	×	×	×ただし本土と橋で連結

地 区		⑭ 県北・田平地区の離島								⑮
		鷹島(松)	黒島(松)	青島(松)	飛島(松)	大島(平)	度島(平)	黒島(佐)	高島(佐)	福江島
生コンクリート		×	×	×	×	○	×	×	×	○
アスファルト 合材	新材	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	再生	×	×	×	×	×	×	×	×	○

地 区		⑯	⑰	⑱	⑲		⑳	㉑	㉒
		奈留島	久賀島	枕島	中通島・若松島	中通島・若松島	壱岐島	対馬Ⅰ	対馬Ⅱ
生コンクリート		○	×	×	○	×ただし中通島と橋で連結	○	○	○
アスファルト 合材	新材	×	×	×	○	×ただし中通島と橋で連結	○	○	○
	再生	×	×	×	×	×	×	×	×

(2) 生コンクリート単価の地区による補正について

- (ア) [⑬平戸地区]のうち生月島についてのみ、同地区単価に+1,000円/m³とする。・・・[TP6250]
 (イ) [⑫宇久島・小値賀島]のうち宇久島については高炉セメント使用生コンクリートのみ製造。
 単価は、同地区単価に+1,000円/m³とする。・・・[TP6254]
 (ウ) [①長崎地区]のうち南越町・野母町・脇岬町・野母崎樺島町についてのみ、
 同地区単価に+2,500円/m³とする。・・・[TP6255]
 (エ) [①長崎地区]のうち千々町についてのみ、同地区単価に+1,800円/m³とする。・・・[TP6256]

(3) 生コンクリート小型車（4 t 車以下）割増について

- (ア) [①長崎地区]は、1 台（1.7m³）・1 回当たり6,000円（3,520円／m³）とする。・・・[TP6260]
(イ) [②諫早地区]は、1 台（1.7m³）・1 回当たり6,000円（3,520円／m³）とする。・・・[TP6261]
(ウ) [③大瀬戸地区]は、1 台（1.7m³）・1 回当たり4,000円（2,350円／m³）とする。・・・[TP6262]
(エ) [⑦松浦地区]は、1 台（1.7m³）・1 回当たり2,000円（1,170円／m³）とする。・・・[TP6263]
(オ) [⑬平戸地区]は、1 台（1.7m³）・1 回当たり3,000円（1,760円／m³）とする。・・・[TP6264]
(カ) [⑭中通島・若松島]は、1 台（1.7m³）・1 回当たり6,000円（3,520円／m³）とする。・・・[TP6265]
(キ) [④島原地区]は、2,000円／m³とする。・・・[TP6266]
(ク) [⑫対馬Ⅰ地区]は、4,000円／m³とする。・・・[TP6267]
(ケ) [⑫対馬Ⅱ地区]は、4,000円／m³とする。・・・[TP6268]
(コ) [⑤県北地区]は、1 台（1.7m³）・1 回当たり2,000円（1,170円／m³）とする。・・・[TP6269]
(サ) [⑥東彼杵地区]は、1 台（1.7m³）・1 回当たり2,000円（1,170円／m³）とする。・・・[TP6270]
(シ) [⑩壱岐地区]は、1 台（1.7m³）・1 回当たり2,500円（1,470円／m³）とする。・・・[TP6271]
(ス) [⑪奈留島地区]は、1 台（1.7m³）・1 回当たり5,100円（3,000円／m³）とする。・・・[TP6272]
※ その他の地区については必要に応じて見積もりを徴取すること。

4) 再生クラッシャーランの単価について

- (1) [⑭県北・田平地区の離島]の単価については、鷹島以外には適用できない。

5) セメント

基本単価一覧表のコードに掲載しているセメント（バラモノ）は、一件工事で1,000 t 以上使用する場合は適用できない。

基本単価一覧表のコードに掲載しているセメント（袋物）は、一件工事で8 t（320袋）以上使用する場合は適用できない。また、2 t 未満についてはセメント（小口・袋物）を使用すること。

[⑫宇久島・小値賀島]の[TT1020]普通ポルトランドセメント（バラモノ）は、小値賀島以外には適用できない。

6) 火薬・電気雷管

基本単価一覧表のコードに掲載している火薬は、一件工事で1 t 以上使用する場合は適用できない。また、電気雷管は、火薬庫有りの場合や一件工事で1,000個以上使用する場合は適用できない。

7) 海上運賃

地域別単価が設定されていない資材のうち、内地で生産されるコンクリート二次製品、鋼材（鋼管杭・H杭等）、仮設材（鋼矢板・H形鋼・覆工板等）、異形ブロック型枠を、離島において調達する場合は、海上運賃（TT0001：コンクリート二次製品，TT0002：鋼材，TT0011：異形ブロック型枠）を計上する。

※ 壱岐・対馬Ⅰ・対馬Ⅱ地区においてはコンクリート二次製品には海上運賃（TT0001）を用いず、別途資材現着単価の見積を行う。

※ 海上運賃には、島内での陸上輸送を含む。

※ 離島本島から離島の離島へ海上運搬する場合は、別途見積を行う。（久賀島、杵島は除く）

※ 仮設材や異形ブロック型枠など搬出（返却）が必要な資材は、返却する分の海上運賃も計上する。

8) TP3205～TP3250のフェンスの規格は、以下のとおりとする。

- | | |
|----------------------|---------------|
| ビニル被覆（TP3205～TP3226） | 線径φ3.2×網目50mm |
| 亜鉛メッキ（TP3231～TP3240） | 線径φ3.2×網目56mm |
| メッキ着色（TP3241～TP3250） | 線径φ3.2×網目56mm |

9) 安全灯について（詳細の規格は、下表のとおりとする。）

区 分	規 格	単位	本土地区	離島地区
第1線 防波堤	<灯具（LEDタイプ）> 灯色：黄色、赤、緑 光達距離：5km～9km 閃光時間：3秒～4秒 材質：耐食アルミニウム合金 <標体（ポール）> ポール高：3.0m 材質：STK400亜鉛メッキ ※ボルトは含むがケミカルアンカーは含ま ※標準的な設置は4箇所（4穴タイプ） <電池> 形式：太陽電池式 耐用年数：蓄電池3～5年	基	—	TP4497
			<灯具のみ> —	<灯具のみ> —
			<電池のみ> —	<電池のみ> —
第2線 防波堤	<灯具（LEDタイプ）> 灯色：黄色、赤、緑 光達距離：2km～5km 閃光時間：2秒～4秒 材質：耐食アルミニウム合金 <標体（ポール）> ポール高：3.0m 材質：STK400亜鉛メッキ ※ボルトは含むがケミカルアンカーは含ま ※標準的な設置は4箇所（4穴タイプ） <電池> 形式：太陽電池式 耐用年数：蓄電池3～5年	基	TP4498	TP4499
			<灯具のみ> —	<灯具のみ> TP4504
			<電池のみ> —	<電池のみ> —

2. 共通資材単価

- 1) 資材単価は原則として工事現場渡し価格とする。（海上渡しの場合、捨石や砂、試験費用等を除く。）
- 2) 鋼板・形鋼について
 - (1) 価格採用にあたっては、販売価格（市中価格）を原則とし、実勢販売価格（実取引価格）を考慮する。
 - (2) 形鋼のうち鉄塔向け以外の等辺山形鋼については、市中価格とする。

3. 建設機械賃料

長期割引率及び賃料に含まれる料金

機 種	長期割引率	燃 料 費	オペレータ料金
トラッククレーン	20%割引済	含む	含む
ホイールクレーン（ラフテッククレーン）	〃	〃	〃
クローラクレーン ※	無し	別途計上	〃
トラクターショベル	35%割引済	〃	別途計上
ロードローラ	〃	〃	〃
タイヤローラ	〃	〃	〃
振動ローラ	〃	〃	〃
高所作業車	〃	〃	〃
空気圧縮機	〃	〃	〃
発動発電機	〃	〃	〃
水中ポンプ	〃	〃	〃
ミニバックホウ	〃	〃	〃
バックホウ	〃	〃	〃
トラック（クレーン装置付き）	〃	〃	〃
高所作業車（トラック架装型）	〃	〃	〃
ブルドーザ（普通）	〃	〃	〃
油圧ブレーカ	〃	〃	〃

※ クローラクレーンの『4.9t吊』は『長期割引率：35%割引済』『オペレータ料金：別途計上』とする。

（注）長期割引率等の内容については積算資料及び建設物価を参考。